

れ、直ちに愛知縣豊橋市立高等女學校に御奉職滿三ヶ年にして、母校甲部研究科に御入學、二ヶ年間専ら裁縫に關して御研究を積ませ給ひ、同四十四年三月御卒業と共に東京女子高等師範學校助教諭兼助教授に任せられ給ひ裁縫の御教授に力を盡させ給ふ。
ついで同四十五年三月第六臨時教員養成所講師を囑託せられ給ふ。大正三年高等官八等に叙せられ給ひ、文部省裁縫科中等教員檢定試験委員補助を命ぜられ給ふ。又共立女子職業學校講師及夏期には、福岡縣教育會主催の裁縫講習會講師として盡させ給ふ。翌年三月本校教授に進ませ給ひ、五月には文部省視學委員を命ぜられ給ひ。十月從七位高等官七等に陞らせ給ふ。此間御職に御勉勵なるの故を以つて其筋より賞せられ給ひし事再三に止らざりき。
然るに大正四年十月の末、御病を得させ給ひ急に相州茅ヶ崎南湖院に御入院靜養し給ふ事となる。爾來殆ど二ヶ年にわたり彼地に御病を養はせ給ひしが、本年夏以來御病頓に重らせ給ひ、御養生の甲斐なく遂に御齡卅四を以ていと安らかに永遠の眠につき給ふ。

學術談話會家事科部會報終

御葬儀は、二十五日本郷教會に於て營ませられ、二十七日には御郷里長野縣埴科郡西寺淨心寺に於て御埋葬の御事も恙なく了らせ給ひと承はる。
故先生は、裁縫に關しては、實用的價值を認め、其目的に對して十分の效果あらしめんと、努め給ひしは勿論、間接的の價值即ち教育的價值をも非常に重んじ給ひ將來社會の中堅として立たんとする女性をして眞個に人として教育せんとの御心を以つて常に御指導遊ばされたり。
更に本校生徒の如き特別の任務を有するものにおいて、衣服に關する學術的知識を明確にし、進んでは、其鞏固なる基礎の下に、盛に他學科を應用し、衣服の改良などいふ事をも研究せざる可らず。この基礎の下に立たざるは改良などいふも眞に力あるものにあらざるなりとは、御意見の大體なれども、筆拙くして、よく其御遺志をあらはし奉るを得ざるは返へす返へすも遺憾とするところなり。
かくて先生は、實際に之等の方面に御研究を進め給ひ御著書の御計畫さへありしに遂に其御目的を達し給ふ事を得ざりしは實に惜しみ奉りても餘りある事なり。

大正七年十二月十五日印刷
大正七年十二月二十日發行

(非賣品)

發行所 東京女子高等師範學校内
學術談話會家事科部

編輯者 伊藤くら

印刷者 東京市京橋區新富町一丁目六番地
江澤三郎

印刷所 同
明正印刷株式會社

電話京橋(千二百九番
二千五百六番)